



一般
社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2025年11月号

2025 年度 第 1 回二次電池部会を開催

2025 年 10 月 9 日（木）、一般社団法人電池工業会は 2025 年度第 1 回二次電池部会を Web で開催した。冒頭で BAJ 競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認したのち、遠山部会長（I+N「ウィズ」株式会社）、清水専務理事より挨拶があった。続いて各委員の代表より、これまでの活動報告を行った。

1. 部会長挨拶（遠山部会長）

工業会活動を通じての電池業界発展へのご協力、貢献に感謝いたします。

本日は 8 件の報告がありますが、会議が有意義な活動となるよう活発なご意見、ご質問をいただきますようお願いいたします。

2. 専務理事挨拶（清水専務理事）

電池業界に対する国の動きを紹介します。

①8 月 27 日経産省から蓄電池戦略に関して追加投資の話があり第 6 回目として令和 7 年 1778 億円の支援に対する公募を開始している。

②9 月 1 日環境省から地方自治体のリチウムイオン電池の処理についての説明会が実施された。最近（廃棄回収された）リチウムイオン電池の発火事故が多発しており処理工場が火災となり約 100 億円規模の被害となっているため、地方自治体として回収をすることの要請が出ている。これにより海外電池が回収責務を負わず税金で回収されてしまい、（日本製は製造各社が負担をして回収していることに対して）矛盾が生じてしまうという事態が発生してしまうため、今後の動きを注視したいと考えている。

③9 月 5 日 正賛合同会議が北海道で開催され、会員 15 社、賛助会社 68 社、総計 139 名の参加があった。私からは工業会の活動についての報告を行い、また講演会として前オーストラリア全権大使 山上様を招待し「日本外交の劣化」というテーマで講演をしていただいた。

④今月末より事業計画の進捗ヒアリングを実施していく。9 月までの総括及び積み残しはないか、後半の活動はどのように進めるか等を検討していくので、引き続き 25 年度活動推進について皆様の協力をお願いいたします。

3-①. 各委員会 2025 年度上期活動実績及び下期活動計画

各委員長より 2025 年度上期活動実績及び下期活動計画の報告がされた。

◆広報総合委員会

2025 年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ PR 活動；以下 3 つを重点テーマとして活動を実施、①「コイン・ボタン形電池の誤飲事故防止」Instagram ショート動画をインフルエンサーを通じて配信、②「自動車用バッテリーの定期点検、買い替え促進」天気情報アプリに

8月バナー広告掲載、YouTubeの啓発動画ヘリンク、アプリへのアクセス数が少なかったため、冬季にも再度実施を予定、③「小型充電式電池の回収リサイクル」YouTube、ローカルTVでのCM放送などを活用した注意喚起の発信を計画

- ・ キャンペーン；「電池川柳コンテスト」9/1 応募開始
- ・ イベント活動；①経済産業省“こどもデー”に出展、②手作り乾電池教室 8月までに10件の開催、③電池フェスタ 9/27 静岡県で開催、233名の来場者

◆国際環境規制総合委員会

2025年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ 欧州委員会の研究部門、LMT用電池のカーボンフットプリント計算手法に関する報告書の初期草案公表；この作業は、外部ストレージなしの産業用電池（JRCが報告書を2025年4月に公開）およびEV用電池（欧州委員会が2024年4月に委任規則案を公開）のカーボンフットプリント計算手法に関する既存の作業を基にしたものとなる。EV用電池のカーボンフットプリント計算手法については委任規則採択が当初2024年第1四半期に予定されていたが、今なお未採択。
- ・ 欧州連合、電池規則を一部改正し、電池デューデリジェンス義務の適用を2年延期；電池デューデリジェンス義務の適用開始日を現在の「2025年8月18日」から「2027年8月18日」へと2年先送りし（48条1項の改正）、関連ガイドラインの欧州委員会による公表期限を「2025年2月18日」から「2026年7月26日」に変更。
- ・ 他に以下の国際環境トピックスについての報告がなされた、◆米ミネソタ州、PFAS含有製品規制法の最初の報告期限を延期へ、◆

米加州で審議中のPFAS含有製品規制法案、修正により規制対象製品は6製品に限定へ、◆米コロラド州で携帯型電池と中型電池のEPR法が成立、◆韓国、全ての電気・電子製品がEPR及びRoHS制度の対象へ、◆台湾環境部、リサイクルチェーン構築企業が納付するリチウムイオン電池のリサイクル料金に優遇料金を設定、◆香港、「水銀規制条例」を改正し、規制対象となる水銀添加製品の範囲を拡大。

◆資材委員会

2025年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ 共有金型管理状況について資料に基づき報告。今年度更新計画3型、計画通り進捗中。
- ・ 共有金型用プッシングメーカー生産縮小による代替先検討を実施；現行の生産会社より代替先の検討を申し入れられ（対象HS60/HS80蓋プッシング等）ため、同業他社での代替生産が可能であることを確認し、生産会社の場所変更を各社合意。
- ・ 2025年度下期事業計画；2025年度更新の進捗フォローおよび2026年度更新が必要な金型の確認。

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

2025年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ 2025年度上期 SBRAリサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数純増は8月時点で12件。業種別増減での大きな傾向はないが、国内2位のホームセンターグループであるDCMが廃鉛蓄電池を有価売却に切り替える方針との連絡を受けており下期から回収量減少の可能性がある（回収量約100t/年）。
- ・ 2025年度上期回収量については前年同期

比 97%で若干下回る状況。

- ・ 下請法対応として委託業者との委託費の適正性を担保する業務委託契約の見直しを 2024 年度実施済だが、2026 年度施行予定の中小受託取引適正化法（取適法、旧下請法）対応のため、さらなる見直しを検討中で事業者との協議中。
- ・ 2025 年度委託先監査については予定通り 2 社完了で、下期に 2 社実施予定。
- ・ 不適正ヤードへの対応；環境省において廃掃法の規制強化による対応を検討中、委員会としてもその作業に協力している。

◆二次電池技術委員会

2025 年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ 各活動テーマの進捗状況については資料に基づき報告された（主な内容は以下の進捗）。
- ◇ IEC 関連；60095（重要テーマで報告）、60622,60623,62259 いずれも据置型ニッケルカドミウム蓄電池規格の改正については CD で新たに入っていた寿命試験が日本からの意見により CDV では参考扱いにできた。
- ◇ JIS 関連；C 4402：浮動充電用サイリスタ整流装置 改正公募済み、C 8704-1：据置鉛蓄電池 - ベント式、改正公募予定
- ◇ SBA 関連；詳細は資料によるが上期までで改正版発行 1 件、改正作業継続中 3 件(2025 年度内に発行予定)。
- ◇ 国際会議対応；上期に 2 件 ALBA(The Automotive Lead Battery Advancements)関連の workshop が開催され IEC 規格化の情報収集を目的として委員を派遣（各 2 名、計 4 名）。
- ・ 重要テーマ・トピックスとして、以下が報告され

た。

- ① IEC60095-8（自動車補機用鉛蓄電池）；4/4CDV が発行、過去に実施した IEC との交渉の結果として CD2 での日本コメントについてはほぼ受け入れられている内容となっていた。CDV に対して日本から 4 件のコメントを提出しており本日(10/9)コメントレビュー予定となっている。レビュー結果がまとまれば FDIS が発行され、6 週間の審議期間を設けたのち IS が発行される予定であり、今年度中には発行されると予想している。

◆P L 委員会

2025 年度上期活動結果が報告された。

<主な報告>

- ・ 2025 年度の重点取り組み課題は①市場における爆発事故発生状況の監視及び事故防止のための啓発活動、②硫化水素発生による事故防止のための啓発活動、③『蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン』の 2026 年改正、④nite に関する報告ルール見直し、産業電池の PL 活動の要否検討
- ・ 2024 年度爆発事故発生状況について国土交通省への定期報告 7/14、爆発原因の 6 割がメンテナンス不足によるものであること、その未然防止活動を実施していることを報告し、工業会の活動が（爆発防止に）有意義であることの同意を得た。
- ・ 硫化水素発生による事故防止のための啓発活動について；(1)日本 RV 協会と連名で作成したリーフレットは準備済みであるが、日本 RV 協会内での意見が合わない様子で（配布等の活動は）実現できていない。再度協会へ訪問し意向を確認する予定。(2)日本 RV 協会会員向けに通達書面（硫化水素事故再発防止への協力をお願い）をメール配信していただいた。

(2024 年 10 月)。

- ・ 「安全確保のための表示ガイドライン」2026 年度改正に向けた審議を継続中。
- ・ nite に関する報告ルール見直し；国交省、消費者庁および nite に確認し、自動車用鉛蓄電池に関しては重大製品事故、非重大製品事故、用途内使用、用途外使用いずれの場合においても、報告先は、所管省庁となる国交省であることを確認した。ただし用途外での非重大製品事故の場合、国交省に対する報告基準が明確でないため引き続き検討する。
- ・ 産業用電池の PL 活動について；各社への実態確認の結果、一律に産業用電池事故を取り扱うことは難しいとの判断になったため、本件はペンディングとした。
- ・ 爆発事故発生件数を図 1 に基づいて説明、件数は少なく推移しており用途別での特異な事象は認められなかった。爆発の推定原因（図 2）については液切れ（52%）、液口栓目詰まり（9%）によるものが多いため、メンテナンスについての啓発活動を継続する。
- ・ 2025 年度下期活動計画；産業用電池の PL 活動検討を除き上期活動を継続する。

◆産電リサイクル委員会

2025 年度上期活動結果が報告された。

＜主な報告＞

- ・ 広域認定 331 号変更申請 6 月提出、環境省本省 8 月 29 日認定証発行
- ・ 広域認定の作業手順が環境省からの手引き等の変更に伴い、申請手順を取りまとめた手順書（マトリックス）を作成している
- ・ アルカリ蓄電池の新規処理事業者発掘に

ついては引き続き検討しているが、目途が立っていない状況。

◆環境委員会

2025 度上期活動結果が報告された。

＜主な報告＞

- ・ 欧州電池規則関連；第 7、8、13、16、20、30、38、74 条について各社の現状を 9 月時点で確認、その結果、前回委員会で確認し合った状況と変わらないことが確認され、今後も欧州の動きを注視し、委員会内で情報共有して対応を検討することにした。
- ・ SDS ガイドライン改訂の再検討；技術委員会より欧米以外のガイドライン作成・掲載について要望があり検討を開始、情報を得られそうな環境系のコンサルタント会社 3 社から情報を取ったが、情報を持っていないとこのことで、環境委員会としても現時点では対応困難と判断した。
- ・ 欧州電池規則については各社ともに情報を得られずに対応に困っている状況が継続しているが、引き続き欧州の動きを注視して対応を進める。
- ・ 2025 年度下期活動計画；上期活動を継続。

3-②. 審議事項

- ・ なし

4. 事務局報告・連絡、その他

- ・ 次回開催予定（確定）
2026 年 2 月 12 日（木）
13：30～ 機械振興会館 B3-2
- ・ 次々回開催予定（予定）
2026 年 10 月 8 日（木）
13：30～ web 会議（仮決め）

以上

2025 年 1 0 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	9日(木)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換他
	10日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、海外出張報告 他
	17日(金)	広報総合委員会	啓発広告内容確認他
	22日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	宮城県、愛知県会場の修了考査判定
二次電池部会	3日(金)	自動車鉛分科会	SBA規格 G 0101自動車用鉛蓄電池の安全取扱い指針 改正案審議
	9日(木)	二次電池部会	各委員会からの報告および審議
	9日(木)	自動車鉛分科会(臨時)	IEC TC21/WG2 web会議(中国 武漢)
	10日(金)	充電器分科会	JIS C 4402 改正審議 他
	14日(月)	自動車技術サービス分科会	新規リーフレット製作に関する打合せ
	16日(木)	用語分科会	「SBA規格票改正の手引き」一部改正審議
	20日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域331号変更申請準備、広域マニュアル作成
	21日(火)	小形鉛分科会	JIS C 8702規格群 小形制御弁式鉛蓄電池 改正検討
	23日(木)	据置鉛分科会	JIS C 8704-1 据置鉛蓄電池-ベント式 改正検討
	31日(金)	充電器分科会	JIS C 4402 改正審議 他
	31日(金)	電気車鉛分科会	SBA S0402鉛蓄電池セパレーター改正審議 他
二次電池第2部会	7日(火)	リユース規格分科会-リユース・リサイクル TF 合同会議	リユース規格に関する審議
	7日(火)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2、IEC91960-3 AMD審議
	14日(火)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	15日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	15日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	16日(木)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	23日(木)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	23日(木)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	23日(木)	ニカドニッケル水素分科会	性能規格の改訂審議
	30日(木)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
一次電池部会	2日(木)	消費者委員会	災害発生時の支援物資 供給対応
	9日(木)	規格委員会	IEC60086-1,-2-1,-2-2、86-4、86-5、86-6、62281審議
	10日(金)	規格委員会	JIS C8513審議
	14日(火)	コイン形リチウム二次分科会	IEC61960-4 ED2 AMD、IEC62133-2 ED2 審議
	16日(木)	PL委員会	PL関連の情報共有、安全啓蒙に関する審議
	29日(水)	器具委員会	携帯電灯に関する表示ガイドライン、安全啓蒙に関する審議

8 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2025年 8月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」 「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	314,732	103,192	94%	88%	2,611,257	990,111	106%	99%
一次電池計	239,482	10,121	97%	94%	1,830,472	76,829	109%	105%
酸化銀電池	58,992	1,853	105%	105%	507,591	16,470	121%	126%
アルカリ乾電池計	107,349	4,269	81%	75%	719,334	28,542	98%	95%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウム電池	73,141	3,999	126%	120%	603,547	31,817	115%	106%
二次電池計	75,250	93,071	86%	88%	780,785	913,282	100%	98%
鉛電池計	1,956	16,017	99%	99%	18,551	151,300	102%	106%
自動車用	1,513	10,645	100%	104%	14,318	97,500	103%	106%
その他の鉛蓄電池	443	5,372	95%	92%	4,233	53,800	101%	108%
アルカリ蓄電池計	26,974	18,298	90%	62%	260,930	177,746	109%	74%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のアルカリ蓄電池	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン蓄電池計	46,320	58,756	84%	97%	501,304	584,236	95%	106%
車載用	22,754	39,914	62%	83%	302,919	446,289	84%	100%
その他	23,566	18,842	128%	152%	198,385	137,947	120%	132%

8 月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2025年 8月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	153,193	59,807	86%	92%	1,382,867	534,890	108%	104%
一次電池計	108,844	3,992	105%	107%	905,046	32,553	122%	118%
マンガン	0	0	－	－	40	1	－	－
アルカリ	13,964	299	84%	75%	86,386	2,011	114%	107%
酸化銀	52,183	1,516	103%	107%	456,136	13,257	123%	124%
リチウム	42,697	2,176	118%	119%	362,484	17,174	124%	116%
空気亜鉛	0	0	－	－	0	0	－	－
その他の一次	0	0	2%	0%	0	110	20%	42%
二次電池計	44,349	55,815	59%	91%	477,820	502,337	89%	103%
鉛蓄電池	130	1,104	108%	110%	1,051	9,481	100%	101%
ニカド	95	35	43%	36%	1,080	593	86%	122%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	10,034	13,272	87%	97%	76,767	120,704	90%	106%
リチウムイオン	24,668	37,360	45%	90%	307,442	334,413	82%	105%
その他の二次	9,423	4,045	112%	88%	91,481	37,147	117%	82%
全電池合計（輸 入）	110,022	38,506	106%	92%	1,036,380	359,307	108%	96%
一次電池計	103,027	2,482	107%	109%	971,312	21,689	108%	109%
マンガン	6,034	119	111%	106%	60,236	1,048	101%	101%
アルカリボタン	1,909	19	114%	131%	23,410	238	123%	116%
アルカリその他	78,876	1,296	109%	109%	744,226	12,076	109%	110%
酸化銀	70	4	36%	67%	1,372	79	106%	120%
リチウム	13,002	921	111%	147%	105,012	6,352	113%	127%
空気亜鉛	3,131	51	72%	73%	37,024	736	85%	85%
その他の一次	5	72	189%	27%	33	1,161	52%	67%
二次電池計	6,995	36,023	95%	91%	65,068	337,618	107%	95%
鉛蓄電池	687	4,226	108%	98%	6,807	41,991	108%	106%
ニカド	102	138	297%	84%	426	1,442	94%	81%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	1,585	416	94%	107%	13,930	3,454	97%	113%
リチウムイオン	4,576	28,528	92%	100%	43,327	268,603	109%	105%
その他の二次	44	2,716	234%	45%	578	22,128	740%	42%